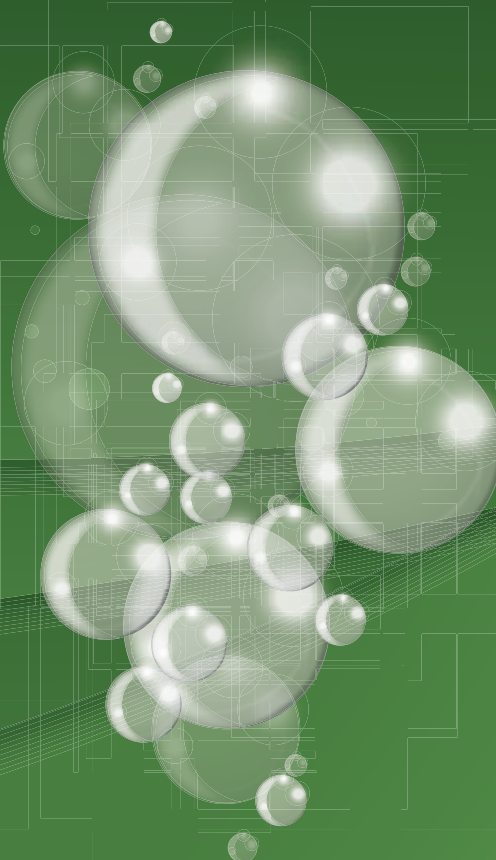


長崎県水産業振興基本計画

平成28年度－32年度

第2章

前計画の成果検証



第2章

前計画の成果検証

基本目標関連指標9項目中5項目、基本施策25項目中17項目についてそれぞれ達成の見込み。

資源は依然として厳しい状況にあり、海面漁業生産量は目標を達成できず、加工品出荷額も原料不足に加え、高次加工が進まず、目標を達成できなかった。

養殖生産額は目標を上回り、新規就業者数は目標に近い数を確保できた。

漁業体験参加者数や環境保全活動取組集落数も目標を達成した。

基本目標関連指標の達成見込み

| | |
|----|-----|
| 達成 | 未達成 |
| 5 | 4 |

| 基本目標 | 関連指標 | 基準年 | 基準値 | H25 | | H26 | | H27 目標値 | 達成 見込み |
|----------------------------|---|--------------|---------|------|------|------|------|------------|-----------|
| | | | | 目標値 | 実績値 | 目標値 | 実績値 | | |
| Ⅰ 次世代へつなぐ水産資源と漁場づくり | ①海面漁業生産量 | H20年 | 30万トン | 30 | 24 | 30 | 24 | 30 | × |
| | ②資源状態が維持・回復した魚種数 | H24年度 | 14種 | 17 | 13 | 18 | 14 | 19 | × |
| Ⅱ 収益性の高い、安定した漁業・養殖業の経営体づくり | ③海面養殖業生産額 | H20年 | 247億円 | 276 | 279 | 288 | 未公表 | 300 | ○ |
| | ④漁業就業者一人あたりの生産額 | H20年 | 587万円 | 696 | 644 | 718 | 未公表 | 740 | × |
| Ⅲ 消費者も産地も潤う水産物の供給体制づくり | ⑤水産加工品出荷額 | H20年 | 552億円 | 579 | 494 | 614 | 未公表 | 650 | × |
| | ⑥魚価 | H21年 | 254円/kg | 258 | 264 | 260 | 273 | 262 | ○ |
| Ⅳ 地域を支え、食を支える漁業者づくり | ⑦新規就業者数 <small>*5カ年度累計 (150×5=750)</small> | H17-21 年度 | 705人 | 150 | 170 | 150 | 136 | 150 | ○ |
| Ⅴ 安全で快適な活力ある漁村づくり | ⑧漁業体験参加者数 | H21年度 | 20千人 | 23.3 | 27.4 | 24.2 | 27.7 | 25 | ○ |
| | ⑨環境保全活動取組集落数 | H22年度 | 112集落 | 125 | 125 | 125 | 127 | 125 | ○ |

①「海面漁業生産量」は、多獲性魚種のカタクチイワシ、サバなどの漁獲減少やまき網等漁船隻数の減少などにより、目標達成は厳しい見通しです。

②「資源状態が維持・回復した魚種数」は、公的・自主的な資源管理を推進してきましたが、海況等の自然環境の影響等により目標達成は厳しい見通しです。

③「海面養殖業生産額」は、クロマグロの生産量の増大、真珠価格の上昇等により、目標を達成する見通しです。

④「漁業就業者一人あたりの生産額」は、漁業生産量の減少、魚価の伸び悩み等により、目標達成は厳しい見通しです。

⑤「水産加工品出荷額」は、練製品などの高次加工品が伸びず、また、原料不足により、煮干、素干などの製造量が減少したため目標達成は厳しい見通しです。

⑥「魚価」は、漁獲の多いアジ、サバ、イワシ等の魚価が高めで推移しており、目標を達成する見通しです。

⑦「新規就業者数」は、国や県の新規就業者支援対策の活用により目標を達成する見通しです。

⑧「漁業体験参加者数」は、農林漁業体験プログラム数の増加に伴い漁業体験参加者数も増加し、目標を達成する見通しです。

⑨「環境保全活動取組集落数」は、環境保全への意識の醸成により各地で環境保全活動は活発に取り組みされており、目標を達成する見通しです。

基本施策関連指標の達成見込み

| | |
|----|-----|
| 達成 | 未達成 |
| 17 | 8 |

| 基本目標 | 基本施策 | 関連指標 | 基準年 | 基準値 | H25 | | H26 | | H27 目標値 | 達成 見込み |
|-------------------------------|--------------------------|-------------------------------|-------|--------------------|-------|-------|-------|-------|------------|-----------|
| | | | | | 目標値 | 実績値 | 目標値 | 実績値 | | |
| Ⅰ 次世代へつなぐ水産資源と漁場づくり | 1. 資源管理による水産資源の維持・回復 | ①自主的な資源管理計画策定数 | H21年度 | 35件 | 207 | 210 | 211 | 223 | 215 | ○ |
| | 2. 栽培漁業の効率的な推進 | ②共同放流体制が構築された魚種数 | H21年度 | 1魚種 | 2 | 2 | 2 | 2 | 3 | ○ |
| | 3. 漁業管理体制の見直しと取締の強化 | ③許可制度の見直し件数 | H21年度 | －件 | 2 | 3 | 2 | 4 | 3 | ○ |
| | 4. 資源増殖と沿岸環境の保全を目指す漁場づくり | ④漁場整備面積 | H21年度 | 531km ² | 593 | 608 | 639 | 622 | 650 | ○ |
| Ⅱ 収益性の高い、安定した漁業・養殖業の経営体づくり | 5. 収益性の高い漁業生産体制の構築 | ⑤新技術等の導入に対する支援件数 | H21年度 | －隻 | 15 | 4 | 20 | 5 | 25 | ○ |
| | | ⑥認定漁業者に対する支援件数 | H21年度 | －件 | 72 | 51 | 96 | 60 | 120 | × |
| | 6. 収益性の高い養殖業の育成 | ⑦魚類養殖生産量に占める新魚種(ハマチ・マダイ以外)の割合 | H20年 | 35.6% | 43.0 | 45.4 | 44.0 | 未公表 | 45.0 | ○ |
| | | ⑧マグロ養殖の生産量 | H21年 | 1,100トン | 2,700 | 3,070 | 2,700 | 4,616 | 2,700 | ○ |
| | 7. 漁家経営安定対策の推進 | ⑨共済加入率 | H21年度 | 43% | 60 | 47 | 65 | 56 | 70 | × |

①「自主的な資源管理計画策定数」は、資源管理意識の醸成と、国が導入した資源管理・収入安定対策により資源管理計画の策定が進み、目標を達成する見通しです。

②「共同放流体制が構築された魚種数」は、ヒラメ栽培漁業推進会議など、県内で共同放流に向けた体制づくりが進み、目標を達成する見通しです。

③「許可制度の見直し件数」は、許可の適格性基準を制定し、一斉更新に併せた見直しなどにより、目標を達成する見通しです。

④「漁場整備面積」は、国営マウンド魚礁の完成や県営大型魚礁等の整備により、目標を達成する見通しです。

⑤「新技術等の導入に対する支援件数」は、漁業者に対する経営支援体制を強化し、新技術導入が図られること等により、目標を達成する見通しです。

⑥「認定漁業者に対する支援件数」は、支援に関する事業の認定要件をクリアできる漁業者が少なかったため、目標達成は厳しい状況です。

⑦「魚類養殖生産量に占める新魚種の割合」は、クロマグロの生産増大により、目標を達成する見通しです。

⑧「マグロ養殖の生産量」は、平成26年7月に改定した「長崎県マグロ養殖振興プラン」に基づく大型化や高品質化、養殖用種苗の確保等の取組により、目標を達成する見通しです。

⑨「共済加入率」は、クロマグロなど養殖業の加入が進まなかったため、目標達成は厳しい状況です。

| 基本目標 | 基本施策 | 関連指標 | 基準年 | 基準値 | H25 | | H26 | | H27 目標値 | 達成 見込み |
|---------------------------|-------------------------|------------------------------------|------------|--------|--------|--------|--------|--------|------------|-----------|
| | | | | | 目標値 | 実績値 | 目標値 | 実績値 | | |
| Ⅲ 消費者も産地も潤う水産物の供給体制づくり | 8. 付加価値の高いブランド製品の育成強化 | ⑩ブランド製品販売額の向上 | H21年度 | 99.7億円 | 112.0 | 108.0 | 116.0 | 115.2 | 120 | ○ |
| | | ⑪平成「長崎俵物」 | | 5.2億円 | 8.0 | 8.4 | 9.0 | 9.6 | 10 | ○ |
| | | ⑫ブランド鮮魚 | | 94.5億円 | 98.0 | 68.4 | 99.0 | 71.8 | 100 | × |
| | | ⑬地域ブランド | | -億円 | 6.0 | 31.6 | 8.0 | 33.8 | 10 | ○ |
| | 9. 地産地消の推進と水産物の県外への販路拡大 | ⑭生産者と飲食店等との商談会等における新たな取引成立件数 | H21年度 | -件 | 10 | 11 | 10 | 14 | 10 | ○ |
| | 10. 水産物輸出戦略の推進 | ⑮東アジア向け鮮魚等輸出額(関係団体分) | H21年度 | 2.4億円 | 4.0 | 4.6 | 6.0 | 6.5 | 8.0 | ○ |
| Ⅳ 地域を支え、食を支える漁業者づくり | 11. 安全・安心な水産物の安定供給 | ⑯高度な衛生管理体制により取り扱われる水産物の数量 | H21年度 | -トン | 設定困難 | - | 設定困難 | - | 50,000 | × |
| | 12. 漁業の将来を担う人材の確保 | ⑰営漁計画認定者数(リース漁船支援対象者数) | H17-21年度平均 | 6人 | 10 | 12 | 10 | 7 | 15 | ○ |
| | 13. 地域を支える意欲ある漁業者の育成 | ⑱漁業士数 | H21年度 | 148人 | 160 | 157 | 164 | 162 | 168 | × |
| | | ⑲ライフジャケット装着率 | H21年度 | 40% | 56 | 53 | 58 | 57 | 60 | ○ |
| | Ⅴ 安全で快適な活力ある漁村づくり | 14. 漁村の中核的組織である漁協の機能強化 | ⑳漁業協同組合数 | H21年度 | 71組合 | 設定困難 | 69 | 設定困難 | 69 | 50 |
| 15. 安全で快適な漁村の生活・就労環境の基盤整備 | | ㉑就労環境改善のための施設整備(浮桟橋等、防風対策、防暑対策)漁港数 | H21年度 | 20漁港 | 設定困難 | 27 | 設定困難 | 28 | 29 | ○ |
| | | ㉒耐震岸壁が完了した漁港数 | H22年度 | 1漁港 | 設定困難 | 1 | 設定困難 | 1 | 3 | × |
| | | ㉓機能保全計画を策定した漁港数 | H22年度 | 14漁港 | 設定困難 | 208 | 設定困難 | 224 | 50 | ○ |
| 16. 地域資源の活用による漁村地域の活性化 | ㉔漁業体験メニュー数 | H21年度 | 99件 | 106 | 106 | 108 | 115 | 110 | ○ | |
| 17. 水産業・漁村に対する県民理解の促進 | ㉕水産部 HP へのアクセス件数 | H21年度 | 29,851件 | 34,000 | 31,441 | 35,000 | 26,983 | 36,000 | × | |

⑩「ブランド製品販売額の向上」は、養殖によるクロマグロ、トラフグ、ブリ等のブランド化を重点的に支援したことにより、目標を達成する見通しです。

⑪「平成「長崎俵物」」は、値頃感のある乾製品(あごだし、いりこだし)の生産量が伸び、県内での販売促進に取り組むことにより、目標値を達成する見込みです。

⑫「ブランド鮮魚」は、旬あじ、旬さばの漁獲不振により、目標達成は厳しい見通しです。

⑬「地域ブランド」は、びわ茶ぶりなどバイヤーと連携した取組により、販売が堅調な状況にあり、目標を達成する見通しです。

⑭「生産者と飲食店等との商談会等における新たな取引成立件数」は、ホテルの料理長、介護施設や自衛隊などの給食献立担当者や水産加工品生産団体等との商談を重ねたことにより、目標を達成する見通しです。

⑮「東アジア向け鮮魚等輸出額(関係団体分)」は、円安基調に加え、中国におけるアンテナショップの新設・拡張等により取扱店舗の更なる拡大が見込まれていることから、目標を達成する見通しです。

⑯「高度な衛生管理体制により取り扱われる水産物の数量」は、長崎魚市場の高度衛生管理型荷捌所が平成33年度に本格稼働予定であり、暫定供用段階では、目標達成は厳しい状況です。

⑰「営漁計画認定者数(リース漁船支援対象者数)」は、平成27年度から中高年齢など幅広い世代が活用できるリース漁船取得への支援を充実させており、目標を達成する見通しです。

⑱「漁業士数」は、漁業廃業等による漁業士辞退者の発生等により、目標達成は厳しい状況です。

⑲「ライフジャケット装着率」は、海難防止講習会での着用励行指導や海難防止意識の醸成により、目標を達成する見通しです。

⑳「漁業協同組合数」は、現在、県内6地区(20漁協)で合併について協議・検討を進めているが、平成27年度の漁協合併は見込まれず、目標達成は厳しい状況です。

㉑「就労環境改善のための施設整備(浮桟橋等、防風対策、防暑対策)漁港数」は、計画どおり整備が進み目標を達成する見通しです。

㉒「耐震岸壁が完了した漁港数」は、整備地域での軟弱地盤出現への対応等による工事完成の遅れ等により、目標達成は厳しい状況です。

㉓「機能保全計画を策定した漁港数」は、計画策定が予定通り進捗し、目標を達成する見通しです。

㉔「漁業体験メニュー数」は、水産業と他産業(農林業、観光業)との連携したメニューづくりが進んでおり、目標を達成する見通しです。

㉕「水産部 HP へのアクセス件数」は、水産部 HP で発信していた水産部関係のイベント、入札・公募情報等が県庁 HP リニューアル後、県庁担当課サイトからの発信となったため、アクセス数は減少し、目標達成は厳しい状況です。